

安全データシート

株式会社サナス

作成日 2023年 5月 11日
改訂日 2023年 5月 22日

1. 製品及び会社情報

製品名 糖含有珪藻土
会社名 株式会社サナス
住所 鹿児島市南栄三丁目20番地
担当部門 品質保証部
電話番号 099-269-1011 FAX番号 099-267-5466

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性: 区分外、区分に該当しない、または分類できない
健康有害性: 特定標的臓器毒性(反復ばく露): 区分1(呼吸器系)
その他は、区分に該当しない、または分類できない
環境有害性: 分類できない

ラベル要素

絵表示:

注意喚起語: 危険
危険有害性情報: 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器(呼吸器)の障害
注意書き: 【安全対策】粉じんを吸入しないこと
粉じんを長期にわたり肺に吸入すると、じん肺になるおそれがあるため、防じんマスクを着用すること。
眼を傷つけるおそれがあるため、保護メガネを着用すること。
取扱い後は、口内及び鼻腔をよく洗うこと。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

【応急措置】

気分が悪いときは、医師の診察を受けること。
吸入した場合は、新鮮な空気を吸うこと。
眼に入った場合は、目をこすらずに水でよく洗浄すること。

【廃棄】

廃棄物の処理及び清掃に関する法令に基づき廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 混合物

組成及び成分情報:

化学名又は一般名	CAS番号	官報公示整理番号	濃度又は濃度範囲(wt%)
融剤焼成珪藻土	68855-54-9	—	30～
糖	—	—	5～
水	7732-18-5	—	～45

珪藻土は鉱産物であり非晶質のシリカを主成分とするが、結晶質シリカを数%ふくむことがある。

4. 応急措置
 吸入した場合： 直ちに空気の新鮮な場所に移動させ鼻をかみうがいさせる。
 皮膚に付着した場合： 清浄な水で洗浄する。
 眼に入った場合： 目を擦ったり固く閉じたりせずに、水で十分に洗浄する。
 異物感や痛みが残るときは、眼科医の診察を受ける。
 飲み込んだ場合： 水で口の中を洗浄する。
5. 火災時の措置
 消火剤： 周辺火災に応じて、通常の消火剤(水、炭酸ガス、粉末、泡 等)を使用する
 特定の消火方法： 消火剤にて風上から消火する。
 消火を行う者の保護： 消火作業の際には有害なガスを吸い込まないように呼吸用保護具を着用し、風上から消火作業を行う。
6. 漏洩時の措置
 人体に対する注意事項： 作業の際には防じんマスクを着用し、粉じんを吸入しないようにする。
 環境に対する注意事項： 飛散発じんする可能性があるため、製品の環境中への流出を避ける。
 除去方法： 真空掃除機で吸引するか、ホコリが立たないように(散水等)容器内に掃き入れる。
7. 取扱い及び保管上の注意
 取扱い： 包材を転倒、落下、衝撃を与えない。
 粉じんが立たないように作業し、粉じんの吸入を避ける。
 必要に応じて保護具を着用する。
 保管： 水濡れ、湿気、その他汚染を避ける。
8. 暴露防止及び保護措置
 管理濃度： $E = 3.0 / (1.19 \times Q + 1)$
 E: 管理濃度 (mg/m³)
 Q: 当該粉じんの遊離けい酸(結晶性シリカ)含有率(%)

許容濃度：

	日本産業衛生学会 (上段；吸入性粉じん 下段；総粉じん)	ACGIH; TLV-TWA	OSHA; PEL 吸入性粉じん
	mg/m ³	mg/m ³	mg/m ³
珪藻土	0.5 2	—	(天然珪藻土を含む非晶性シリカ) 80 / (% SiO ₂)
吸入性結晶質シリカ(参考) (石英・クリストバライト)	0.03	0.025	0.05

粉じんの吸入等によるリスクを低減するために、防じんマスクや保護メガネなどの個人保護具を着用することが望ましい。また、肌荒れ予防のために手袋着用も望ましい。
 設備対策： 取扱いについては、極力局所排気装置を使用する。

9. 物理的及び化学的性質
 物理状態： 固体
 色： 黄白色～茶褐色
 臭い： 特有の臭いを有する
 融点/凝固点： 情報なし
 沸点又は初留点及び
 沸騰範囲： 情報なし

可燃性:	情報なし
爆発限界及び爆発上限界/ 可燃限界:	該当しない
引火点:	情報なし
自然発火点:	該当しない
分解温度:	情報なし
pH:	情報なし
動粘性率:	該当しない
溶解度:	情報なし
n-オクタノール/水分解計数 (log値):	該当しない
蒸気圧:	情報なし
密度及び/又は早退密度:	情報なし
相対ガス密度:	該当しない
粒子特性:	情報なし

10. 安定性及び反応性

安定性:	通常条件では安定
反応性:	通常条件では反応性無し
避けるべき条件:	現在知見なし
避けるべき材料:	現在知見なし
発生する有害性のある物質:	現在知見なし

11. 有害性情報

(融剤焼成珪藻土についての情報)

急性毒性:	区分に該当しない
皮膚腐食性・刺激性:	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷・刺激性:	分類できない
呼吸器感受性又は皮膚感受性:	分類できない
生殖細胞変異原性:	分類できない
発がん性:	分類できない

IARC (WHO国際がん研究機関)は、珪藻土、非焼成珪藻土、融剤焼成珪藻土を非晶質シリカとしてグループ3(ヒトに対する発がん性については分類できない)と評価している。

また、石英(クォーツ)、あるいはクリストバライトのダスト形態での結晶質シリカはグループ1(ヒトに対する発がん性がある)と評価している

生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露):	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露):	区分1(呼吸器系)
誤えん有害性:	分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性:	分類できない
残留性・分解性:	区分に該当しない
生体蓄積性:	分類できない
土壌中の移動性:	区分に該当しない
オゾン層への有害性:	分類できない

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理及び清掃に関する法令に基づき廃棄を行う

14. 輸送上の注意

国連分類及び国連番号:	なし
輸送上の特定の安全対策及び条件:	破損のないようにする。荷崩れ防止を確実に行う。 水濡れ、湿気、その他汚染を避ける

15. 適用法令
対象物質: 結晶質シリカ
労働安全衛生法 : 労働安全衛生規則 第577条の2(がん原性物質)
粉じん障害防止規則(但し 第二条 別表第一に掲げる作業に限る)
57条、57条の2、57条の3
じん肺法 : じん肺法施行規則(但し 第二条に該当する作業に限る)
作業環境測定法 : (但し粉じん障害防止規則 第二十五条に該当する作業に限る)
16. その他
この情報は新しい情報によって改訂することがあります。この情報の完全さや正確さを保証するものではありません。
注意事項は通常の手配を対象にしたもので、特殊な場合は用途に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。